

関口浄水場における水質基準の超過について

関口浄水場の浄水を水質検査機関に依頼した結果、「アルミニウム及びその化合物」が基準値（0.2mg/L）を超えて検出されましたので、次のとおりお知らせいたします。（最大値：0.47 mg/L （9月2日））

1. 基準値を超えた期間

令和7年8月27日（水）～9月3日（水）まで

2. 基準値を超えた給水エリア

関口浄水場区域（別紙のとおり）世帯数：約 2,600 件

（大字望海、上手綱の一部、下手綱の一部、高萩の一部、高戸の一部、赤浜の一部）

3. 原因

今回の基準値超過の原因は、原水の水質変化により不純物を取り除くための薬品（凝集剤：PAC）による凝集効果が得られなかったことと考えられます。

4. 対応

薬品の注入量を見直したことにより、現在、「アルミニウム及びその化合物」は基準値以下となっております。（検査結果：0.11 mg/L（9月4日））

5. 人体の影響について

アルミニウムは人体でほとんど吸収されず体外に排泄されるため、基準値を一時的に超えていたとしても、健康に影響が出るものではありません。

（※参考「アルミニウムと健康」 日本アルミニウム協会 より抜粋）

飲み水や調理などには通常どおりご使用いただける水質です。

従いまして、今回の事案につきましては、給水の停止や飲用の制限などは行いませんでした。

市では今後も水質のチェックをしっかりと行い、今後も市民の皆さまに安全で安心な水をお届けできるよう努めてまいります。

このたびはご心配をおかけしたことをお詫び申し上げるとともに、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。